

Insight Home Design 導入ガイド

外注図面のチェックと指摘の管理 — 導入の流れとご準備いただくもの 2026 年 10 月版

外注図面のチェックと指摘の管理を行う Windows アプリ「Insight Home Design」を、御社の設計部に導入していただくための説明書です。導入は 2 段階です。まず標準のチェック項目でその日から使い始め、次に御社のルールを「パック」として組み込みます。

1. Insight Home Design でできること

機能	内容
外注図面チェック	外注先から届いた図面(Jw_cad・DXF・PDF)を取り込み、記載の漏れ・面積や建ぺい率の計算違い・図面どうしの食い違いを確認します。建築基準法・消防法・条例は根拠条文と計算過程つきで検算します(構造の告示と一部の高度地区は、原文と照合するまで「要確認」で出します)
標準のチェックリスト	戸建住宅(木造 2 階建て中心・2025 年 4 月の法改正後)の外注図面の受け入れで見る 49 項目を、最初から入れてあります。機械が判定する項目・図面から材料を拾う項目・人が見る項目に分け、それぞれ公開資料の出典を示します
指摘書	指摘の位置を図面に示した指摘書(PDF)と、外注先が回答を書き込む回答用 Excel を作ります。赤入れ(丸・矢印・手書き・コメント)も載せられます
指摘の追跡	提出のたびに、指摘を「今回の新しい指摘・前回から継続・再指摘・解消」に分けて管理します。回答があったのに図面の該当箇所が変わっていない指摘も知らせます
外注先の集計	外注先ごとの指摘の数や再発の傾向を集計します
図面の修正	簡単な修正(文字・寸法値の書き換え、部分消し、伸縮など)を、Jw_cad に近い操作でアプリの中で行えます
間取りプランの下書き・規格プラン	現況図と条件から間取りプランの下書きを出し、御社のプランルールで確認します。下書きは設計者が図面の上で仕上げます(開発中の機能)

最終的な法適合の判断は建築士が行います。本アプリの判定は設計の補助です。

2. 導入は 2 段階

段階	内容	御社のご準備	目安
① その日から使う	アプリをインストールし、標準のチェック項目(49 項目)で外注図面をチェックします	アプリを入れる PC だけ	当日
② 御社仕様にする	御社のチェックリストを「パック」にして組み込み、御社の外注先の図面で読み取りを調整します	3 点(下記)	資料をいただいてから 2~4 週間

①だけでも、記載の漏れ・計算違い・図面どうしの食い違いのチェック、指摘書の作成、指摘の追跡はすべて使えます。②で、御社独自のチェック項目が加わり、御社の外注先の図面での誤った指摘が減ります。

3. ① その日から使う(標準の 49 項目)

1. アプリをインストールし、起動します(ライセンスの入力を求められたら、お送りしたキーを入れます)
2. ホーム画面に、外注先から届いた図面のファイル(.jww・.dxf・.pdf。複数可)をドラッグします。物件(案件)が作られ、チェックが始まります
3. 画面上の「次にやること」に従います。指摘を確かめ、不要なものは「修正不要」に、足りないものは「指摘を追加」や赤入れて足します
4. 「指摘書を作る」で PDF と回答用 Excel を作り、外注先に送ります
5. 外注先から修正図と回答が届いたら、同じ物件にドラッグします。前回の指摘が直ったか・直っていないかが分かります

最初の 1 物件は、すでにチェックが終わった過去の物件で試していただくと、御社の見方との違いが分かります。

4. ② 御社仕様にする(パック)

ご準備いただくもの(3 点)

もの	何に使うか	形式
社内の図面チェックリスト	御社独自のチェック項目にします。標準の 49 項目と並べて表示し、図面から確かめられる項目は自動で、それ以外は人が見る項目にします	Excel・PDF・紙の写しのどれでも
外注先の一覧	外注先ごとの図面の書き方(ファイル名・棟番号の付け方・図書の種類)の違いを確かめ、読み取りを調整します。外注先別の集計で使う名前もそろえます	Excel か一覧のメモ
過去の提出図(10～20 物件)	御社の図面で読み取りを確かめ、誤った指摘が出ないように調整します	外注先から届いたままのファイル

窓口として、設計部の担当者の方を 1 名お決めください(チェック項目のご確認役)。

追加でお受けできるもの(任意)

次は後からでも追加できます。必要になったときにお送りください。

- ・ プランルール(社内の設計基準のうち間取りの基準)・寸法の体系(モジュール): 間取りプランの下書きを使う場合
- ・ 登録部品(Jw_cad の図形)と図枠: 図面の修正で御社の部品を使う場合
- ・ 検査機関からの質疑のまとめ・過去のチェックバック(赤入れ)の例: よくある指摘をチェック項目にします
- ・ 指摘書に入れる発行者名・ロゴ
- ・ 主な建築地(市区町村): 条例の確認を増やします

流れ

段階	御社	弊社
資料のお送り	上の 3 点をお送りいただきます	受け取った資料は御社の資料として管理します
パックの作成	—	チェック項目をパックにし、過去の提出図で読み取りと指摘を確かめて調整します
ご確認	過去の図面でのチェック結果をご確認いただきます	ご指摘を反映します
配置	パックのファイルを共有フォルダに置いていただきます	置き方をご案内します

5. 御社で決めていただくこと(法令と会社の基準の線引き)

法令で決まることは製品が持っています。御社の設計基準は御社が決め、製品はそれを守って判定します。設計の判断は、これまでどおり設計者が行います。

当日から使えるもの(決めることはありません)

- 標準のチェック項目(49 項目)
- 法令の判定(建築基準法・消防法・条例。根拠の条文と計算過程つきの検算。告示・条例の数値は原文と照合したものだけで判定し、照合できないもの〔N 値の係数など〕は「要確認」)
- 図面どうしの突き合わせ(平面図・面積表・立面図・外皮計算の数値と窓、基礎伏図と平面図の柱・耐力壁)
- 員数表(コンセント・スイッチ・建具・サッシ)

御社仕様にするとときに決めていただくもの(会社の設定)

決めていただくもの	内容	区分
① 図面のチェックリスト	課で使っている項目。標準の 49 項目と並べて表示し、図面から確かめられる項目は自動で判定します	必須(4. の 3 点)
② 外注先の一覧	外注先ごとの図面の書き方の違いを確かめ、集計で使う名前をそろえます	必須(4. の 3 点)
③ 過去の提出図 10~20 物件	御社の図面で読み取りを確かめ、御社の見方と答え合わせをします	必須(4. の 3 点)
④ 間取りの設計基準	境界からの離れのゆとり・玄関まわりの通路の幅・LDK と洋室の下限・動線・駐車寸法	任意(間取りプランの下書きを使う場合)
⑤ 図枠・部品・規格プラン	指摘書と図面の書き出しで使う御社の図枠、登録部品(Jw_cad の図形)、規格プラン	任意
⑥ 営業エリアの条例・高度地区	製品に無い自治体の値。主な建築地(市区町村)をお知らせください	任意

①～③は「4. ② 御社仕様にする」の 3 点と同じものです。④～⑥は後からでも足せます。はじめは標準の値で動くので、決めるのは試用のあとでも構いません。

6. パックのしくみ

Insight Home Design は、すべてのお客様に共通の部分と、御社ごとに異なる部分を分けて持ちます。

区分	中身	誰が用意するか
共通(製品)	判定のしくみ、法令の本文(e-Gov)、標準のチェック項目、標準のプランの値、一部の条例	弊社。アップデートでお届けします
御社のパック	御社独自のチェック項目、プランルール、登録部品、図枠、規格プラン、建築地の条例	御社の資料をもとに作成します

御社のパックは御社の資産です。他のお客様に使うことはありません。

パックの置き方(Excel のアドインと同じ考え方)

パックは 1 つのファイル(拡張子 `.inhdpack`)です。決まった置き場に置くと、アプリが読み込みます。

置き場	効く範囲
会社の共有フォルダ(おすすめ)	社員全員。管理者が 1 か所に置けば全員に効きます
この PC	その PC を使う全員
自分だけ	自分だけ(試作や個人の部品)

- 画面「パック」で、使っているパックと中身を確認できます。「パックを追加」で、受け取ったファイルを置き場にコピーできます
- パックはデータ(設定・図形・画像)だけです。プログラムは含まれないため、共有フォルダに置いていても安全です

7. 導入後の運用

チェック項目を御社で直す(パック編集表)

画面「パック」で御社のパックを選び、「Excel で直す」を押すと、パックの中身が Excel(パック編集表)で書き出されます。

シート	直せるもの
チェックリスト	御社のチェック項目の文・自動で確かめるときの語・重さ
チェック項目	図面に書いてあるべき語(例:「図枠に工番」「立面図に外壁の仕様」と、見当たらないときのメッセージ・重さ・根拠
数値・ルール	プランの基準値とルールの文(間取りプランの下書きを使う場合)

黄色の欄を直して保存し、「Excel から取り込む」で戻します。直したパックは「1 つのファイルにまとめる」で .inhdpack にでき、共有フォルダのファイルを置き換えれば全員に反映されます。

アップデート

共通部分(法令の改正への対応・チェック項目の追加・機能の改善)は、アプリのアップデートでお届けします。御社のパックはそのまま使えます。

8. データのお取り扱い

- 図面・案件のデータは、御社の PC と共有フォルダに保存されます。クラウドオプション(お申し込みでオン。案件の置き場を弊社のサーバーにする機能)と、下の AI による補助を使うときを除き、アプリが図面を外部に送ることはありません
- AI による補助(指摘の説明・図面を見て指摘の候補を出す機能)は任意です。お使いになる場合は、御社の管理者が AI の接続を設定します。図面を送る前に確認が出ます。施主名・住所・電話番号などは伏せて送ります
- 導入のためにお預かりした資料は、御社の資料として管理し、他のお客様の作業には使いません

9. ご提供のかたち

ご提供は次の 3 つの組み合わせです。お見積りは、お使いになる人数と、パックに入れる内容をうかがってからお出しします。

項目	内容
製品ライセンス	アプリの利用権(お使いになる人数分)。アップデートを含みます
パックの作成	「4. ② 御社仕様にする」の作業(ご準備いただいた資料からのパックの作成・過去の図面での確認・調整)
パックの保守	チェック項目の追加・変更のご依頼への対応、法改正に合わせた見直し

①だけ(製品ライセンスのみ)でお使いいただくこともできます。

10. よくあるご質問

Q. Jw_cad を使っている外注先でも使えますか。A. 使えます。Jw_cad(.jww)・DXF・PDF の図面を取り込めます。外注先にアプリを入れていただく必要はありません。

Q. パックを作る前でも使えますか。A. 使えます。標準のチェック項目(49 項目)と、記載の漏れ・計算違い・図面どうしの食い違いのチェックは、インストールしたその日から使えます。

Q. 社内のチェックリストにある項目は、すべて自動で確認できますか。A. 図面に書かれた文字で判断できる項目(記載の有無・数値の食い違いなど)は自動で確認できます。納まりや使い勝手のように図面を見て判断する項目は、担当者の方が図面を見て判断し、「指摘を追加」や赤入れで指摘にさせていただきます。

Q. 海外の外注先に、中国語・ベトナム語の指摘書を渡せますか。A. 指摘の文・紙の見出し・画面は中国語・ベトナム語に訳して出せます(日本語の原文と並べた対訳も)。御社のチェック項目・法令名・条番号・室名は日本語のまま並びます。

Q. 複数の部署や支店で、違うルールを使えますか。 A. パックを部署ごとに分けて、それぞれの置き場に置くことで使い分けられます。

Q. チェック項目を変えたいときは、毎回依頼が必要ですか。 A. チェック項目・数値・ルールは、パック編集表(Excel)で御社で直していただけます。登録部品と図枠の設定の変更は、弊社で反映します。

お問い合わせ: ハーモニックインサイト合同会社(HARMONIC insight)

本書の内容は Insight Home Design 1.0.0 にもとづきます。機能と画面は今後の版で変わることがあります。最終的な法適合の判断は建築士が行います。